



1回目のドツキ市は、絶好のロケーションで開催され、多くの方が訪れた。



ドツキ市はアクティビティができるマルシェ。カヌーも大人気だった。



お店の方と話しながらのお買い物を楽しめるのもマルシェの魅力。

路脇の雪の壁がすごいねと言いつつ、内心どつやつて暮らしているんだろかなどと考えていました。私は東根に住んでいるので、同じ北村山なのにこんなに降雪量が違うのかと驚いています。出店のきつかけとしては、先ほど触れましたが、以前グラススタジオ旭さんと働いたことがあり、徳良湖は素敵だと思っていたことです。

1回目を開催して

(玉忠) 1回目のドツキ市は10月5日に開催されました。その感想をお聞かせください。

(横澤) 開催が決まってから短期間で準備をしました。最初はこの3人で物事を進めていきましたが、徐々に色々な縁が繋がっていった。今では実行委員が7人に増えました。開催するまで様々な不安があったものの、実行委員の皆さんのおかげで無事開催することができました。カヌーも人気で、徳良湖が近くにあっても、市民でカヌーやボートに乗ったことがない人は多いようで、水に親しむこと

ができるのも徳良湖のおかげです。今後検討しなければならぬのは、出店者さん用駐車場から会場までの搬入経路に距離があったので、そこが課題です。

(折原) 初回を開催してみて、ゼロのものを1にするのは本当に大変だと実感しました。まずは出店者さん集め。次に、お客さんに来てもらえるように、自分たちの足でチラシを配ったり、メディアにも取り上げていただきました。初回は大成功でしたが、今後続けていくにはもっと認識してもらうこと、続けていくことが大事なので、これから周知していきます。また、ドツキ市が、出店したいと考えている尾花沢の方が自分もチャレンジしてみようと思うきっかけになったのではないかと思います。

(久保田) 今、2回目のお知らせに回っていますが、とても楽しみにしてくれている人が多くいることに驚いています。前回は売り切れで残念だったとの声もいただきましたが、その気持ちは2回目で晴らしてください。

いってお知らせしています。おしゃれだという部分を強調したので、チラシのデザインは専門業者さんに頼んでいます。お金もかかりません。今回は市の地域づくり交付金という助成をいただいています。また、私も今は地域おこし協力隊として関わることができ、協力隊が終わったときに同じように動けるかは分かりませんが、楽しみにしてくれている人がいるので、運営についてもっとみんなで考えていく必要があります。

(落合) 思っていた以上に人が来ました。デザイナーさんにも願います。ブランドイメージのようなものを打ち立てていくことは大事だと思います。ワークショップも素晴らしいので、そういったブランド力を活かしてきれいな環境を作っていくことにも繋げることができると思います。あと、委員長からもありましたが、搬入搬出が大変でした。地元なので地形は分かっていたので一輪車を持って行きましたが、実際に運搬してみる



ドツキ市出店 FARM OCHI (ファームオチ) 落合優哉

芦沢在住。FARM OCHIとして無農薬・無化学肥料栽培に取り組む。自然エネルギーの活用にも興味を持っている。



ドツキ市実行委員会 事務局長 久保田文

地域おこし協力隊としての活動のほか、ドツキ市実行委員会事務局長も務める。自然の中で遊ぶことが趣味。

に活かしたいというところに繋がると思います。私は市内でカフェを出したいと思いついた。修行に行つたんですが、お店を開くのはなかなか厳しくて。自分のお店がなくても気軽にチャレンジできるマルシェが尾花沢にもあったらいいなという思いがあった。ドツキ市を提案しました。

(久保田) いい点は自然に囲まれて生活ができることと、人で嫌な思いをしないことです。足りないと思う部分は、尾花沢の人は物事に対する思い入れが少ないように感じます。こんないい環境で食べ物もおいしくて、色々ないい部分があることに慣れてしまっているからなんじゃないか。ドツキ市を始めるにあたって、地元の人が尾花沢に対してもう少し興味をもって、尾花沢で暮らしていることほどいうことなのか考えるきっかけになるようなイベントにしたいと思っています。

(落合) 皆さんがおっしゃるように、人が少ないと感じます。歩いている人を見ると、なんで

歩いているんだろ、何かあったんじゃないかって心配してしまつほど少ない。尾花沢は本当にいいところなので、人が少ないことがもったいなく感じます。人が少ないとハングリー精神も薄れてくると思います。でも何かきっかけがあれば、すぐたくさんの方が集まると思うので、きっかけづくりに少しでも役立てたらという思いでドツキ市に出店しました。

(鈴木) 私は実行委員の折原さんと久保田さんが仙台にいる頃からの友達で、この2人なら絶対素敵なマルシェになると思い出店を決めました。マルシェのイメージが決まってしまうほどワークショップは大事なんです。徳良湖は素晴らしいと思っています。10月に初めて徳良湖に来て、とても素敵なお店だと感じ、もっと多くの方に来てほしいと思いました。ドツキ市は、色々な方が尾花沢を知りたいきっかけになると思っています。

(大知里) やつぱり第一印象は雪が多いところなんです。道



ドツキ市出店 硝子工房チリ・キルン 大知里祥子

キルンワークという技法でガラスのアクセサリを制作。10月のドツキ市ではワークショップが大人気だった。東根市在住。



ドツキ市出店 ATMiC (アトミック) 鈴木裕子

ATMiCは、様々な手作りキャンドルを手掛けるお店。10月のドツキ市では次回の出店についての問い合わせが多数寄せられた。南陽市在住。